

陸上機械掘削によるコスト縮減

工事名：元稲府漁港-2.0m浚渫外一連工事

概要：浚渫工事において、通常は浚渫船により海上で施行しているが、浚渫箇所を築堤等により一時的に締切り、排水を行った後、陸上機械による掘削を行う。

効果：

海上工事は出来型確保のため余堀が必要となるが、陸上工事は掘削状況を直接確認できるため、余堀の必要が無く掘削土量の低減が図られた。

陸上施行とすることにより掘削費を、**455百万円**から**72百万円**に縮減。

(縮減額 **383百万円**、縮減率 **約63%**)

(従来)



浚渫船による海上工事

(採用)



陸上機械による掘削

平面図

